

平成28年度の一般会計は、前年度比17億1千万円減少

平成28年度一般会計は、当初予算に、4回にわたる補正予算を追加した結果、総額368億3,309万7,000円の予算となり、平成27年度からの繰り越し事業費を加え、全体で378億5,472万6,089円となりました。

歳入総額は、予算額を0.91%下回る375億1,149万6,137円となり、このうち市税収入は147億8,077万6,503円で、予算額を5.19%上回りました。一方、歳出総額は348億4,828万3,174円で、予算額に対する執行率は92.06%となっています。款別に見た前年度決算額との比較では、衛生費は新火葬場建設事業終了等により14億6,009万6,077円、32.13%の減少となっています。

この結果、歳入歳出差引額は、26億6,321万2,963円、うち翌年度へ繰り越す財源が2億2,199万8,240円、実質収支は24億4,121万4,723円となりました。

決算審査質疑

9月5日から7日の3日間にわたり、正副議長、監査委員および前監査委員を除く20人で構成する決算特別委員会が、平成28年度の決算を審査しました。一般会計に関する質疑から、一部をご紹介します。

問 歳入のうち、市税の伸びが好調だが、その要因は何か。

答 市税の伸びは、おもに企業誘致によるものである。また、近年はマンション建設による固定資産税の増も目立つ。

問 ふるさと納税の額が大幅に増えたが、その要因は何か。

答 平成28年8月からプロジェクトチームをつくり、魅力ある返礼品の種類を増やすとともに、返礼割合を3割から4割に上げたことによると思われる。

問 時間外勤務の増加で予算を流用しているが、それをどのように捉えているか。

答 時間外勤務は、近年増加傾向にある。平成29年度においては、サービスを低下させないよう生産性を向上させ、時間外勤務を縮減するよう全庁に呼びかけている。地域の防災力を上げるためには、市役所から地域へ出向いて、各町内会の方を対象にセミナーを開催するなど、防災意識を高める必要があるのではないか。

答 地域での防災のリーダーになっていたように、地域防災力向上セミナーを開催した。地域での主体的な活動を期待している。今後、おとどけセミナーの開催や、自主防災活動マニュアルの周知に努めていく。



地域防災力向上セミナーの様子

問 障害者外出助成事業として福祉タクシーチケットを交付しているが、平成29年から始まったあのリタクシーと組み合わせを進める考えはないか。

答 あいのりタクシーには地域のお金が使われているため、福祉タクシーチケットは使用できない。障がいのある無にかかわらず地域の足を確保していくという観点から、福祉タクシーチケットの利用状況を検証した上で、他市の事例も参考にしながら、制度の見直しを検討していきたい。

問 企業誘致による増収は、企業への奨励金を差し引いてどの程度か。

答 平成28年度は企業誘致の効果で5億円、奨励金の支出が1億3千650万円なので、差し引き3億6千350万円程度である。

問 路線バスの昼間上限運賃低減事業に関し、利用者を安定的に増やすために、運行時間帯や曜日の拡大を含めた市民ニーズの調査が必要ではないか。

答 この事業は、平成27年10月に始まったばかりのため、まずは現在の時間帯でちゃんと運行させることに目的を絞って進めていきたい。

問 耐震診断促進事業費の決算額が、予算額と比較してかなり少ないが、なぜか。

答 耐震診断をされた方のうち、1割程度しか補強工事をされていない。原因としては、耐震補強工事の費用が高額であること、世帯主が高齢であること、あとは、建て替えられる方がいることなどだと考えている。

問 橋りょうの長寿命化事業の進捗状況はどうか。

答 平成28年度は5橋の工事を行う予定であったが、実績は4橋であった。46橋のうち26橋の長寿命化工事が終わったので、残り20橋である。人材育成とともに、計画的に進めていく。子どもが少なくなり、ほとんど使っていない児童遊園地もある。統廃合する考えはないか。

答 利用状況を調べながら、使われているところに遊具などを集中的に整備している。廃止の手続きに関しては、平成29年度から30年度にかけてマニュアルを作成する。

問 消防本部の通信指令台や無線の保守契約等に1千672万円と非常に高額な費用がかかっている。早い段階で通信指令業務の広域化を実現させることはできないのか。

答 通信指令台の他にも多くの機器があり、さらに各消防署にサーバーと指令装置がある。それらの保守を24時間365日対応で契約しているため、それなりの経費がかかることはご理解いただきたい。

また、通信指令業務の広域化については、どこに指令センターを置くのか、各市から職員を何人ぐらい出すのかなど、まだ研究不足の部分があるが、多治見市としては、できるだけ共同化できるように進めていきたいと考えている。

問 中学校は全学年が30人程度学級になったと思うが、その効果はどうか。

答 学校の教職員からは、細かな声かけや指導ができるようになったという意見が出ている。また、生徒や保護者へのアンケートの結果でも、一人一人の役割が増したとか、教室の空間に余裕があるなど、好意的な回答であった。

都市間交流関係費

(決算額) 148万円

東海地方の陶産地で作る協議会の負担金。同協議会で製作したぐい呑みが伊勢志摩サミットで配布されました。

放課後児童健全育成事業費

(決算額) 1億7,877万円

たじっこクラブの運営に要した経費

母子保健事業推進費

(決算額) 9,192万円

乳幼児健診、乳幼児等の相談、ママパラスクール等の教室に要した経費

焼却施設等運営費

(決算額) 8億295万円

ごみの焼却施設の運営に要した経費

緑地法面維持管理費

(決算額) 2,044万円

緑地法面の維持管理や緊急改修工事に要した経費

モザイクタイルミュージアム管理運営費

(決算額) 4,229万円

平成28年6月に開館したモザイクタイルミュージアムの管理運営に要した経費

橋りょう長寿命化事業費

(決算額) 9,706万円

橋りょうの長寿命化工事やそのための修繕設計業務に要した経費

高規格救急車購入費

(決算額) 3,153万円

笠原消防署の高規格救急車の更新配備に要した経費

さわらび学級移転関係費

(決算額) 1,369万円

さわらび学級の移転、備品購入、旧さわらび学級の解体に要した経費

決算特別委員会の委員長報告は9月27日に行われ、その様子はインターネットでご覧いただけます。
(本会議インターネット配信アドレス <http://gikai.gikai-tv.jp/dvl-tajimi/index.html>)
また、決算特別委員会の質疑の詳細は、議会事務局のほか、インターネットの委員会会議録でご覧いただけます。
(会議録検索アドレス <http://kaigiroku.net/kensaku/tajimi/tajimi.html>)